

農林水産商工常任委員会資料

(平成23年9月16日)

目 目

- 1 台風12号に係る商工対策資金について
【経済通商総室(経営支援室)】…………… 1
- 2 第16回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの
結果について
【経済通商総室(通商物流室)】…………… 2
- 3 第7回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会及び第16回北東
アジア地方政府サミット関連経済協議会について
【経済通商総室(通商物流室)】…………… 5
- 4 「ロシアの柱(ロシア企業家組織連盟)」境港支部事務所の撤去について
【経済通商総室(通商物流室)】…………… 6
- 5 境港への国際定期コンテナ船(RO-RO併用)の就航について
【経済通商総室(通商物流室)】…………… 7
- 6 知事とソニーモバイルディスプレイ株式会社社長との面談について
【産業振興総室(企業立地推進室)】…………… 8
- 7 株式会社サンエスの江府町進出に伴う協定書の調印について
【産業振興総室(企業立地推進室)】…………… 9
- 8 株式会社円山菓寮の鳥取市進出に伴う協定書の調印について
【産業振興総室(企業立地推進室)】…………… 10
- 9 林純薬工業株式会社の工場増設に伴う協定書の調印について
【産業振興総室(企業立地推進室)】…………… 11
- 10 地域活性化総合特区への申請について
【産業振興総室(次世代環境産業室)】…………… 12
- 11 地方独立行政法人鳥取県産業技術センター機械素材研究所
(米子市日下)における敷地内法面崩落について
【産業振興総室(産学金官連携室)】…………… 13
- 12 とっとり産業フェスティバル2011&鳥取環境ビジネス
交流会2011の開催結果について
【産業振興総室(産学金官連携室)】…………… 14
- 13 「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について
【市場開拓局(市場開拓課)】…………… 15

商 工 労 働 部

台風12号に係る商工対策資金について

平成23年9月16日
 経済通商総室
 経営支援室

平成23年台風12号によって、施設・設備の損壊や宿泊客キャンセル等による売上減の影響を受けた商工業者の資金繰りを支援するため、借換えによる資金繰り緩和や小規模零細企業向け融資の利便性を高めた「企業資金繰り対策特別融資」に「平成23年台風12号対策枠」を新設します。

1 「平成23年台風12号対策枠」の概要

「企業資金繰り対策特別融資」に次の要件を追加

① 借換2資金の対象者要件に追加	② 特に影響を受けている者に対する「特別利率」の適用要件に追加
平成23年台風12号により被害を受けた中小企業者で、次のいずれかを満たしている者	
<ul style="list-style-type: none"> ・台風12号により施設・設備の損壊等の被害を受けた者 ・台風12号により平成23年9月の売上高、営業利益等が前年同期に比べ減少した者 	<ul style="list-style-type: none"> ・台風12号により施設・設備の損壊等の被害を受けた者 ・平成23年9月の売上高等が前年同期に比べ<u>5%以上</u>減少した者

【参考】企業資金繰り対策特別融資（対象となる資金）

対象資金名	使途・融資(据置)期間	融資限度額	融資利率
経営安定支援借換資金	借換：10年(うち3年)以内 ※経営改善に必要な運転・設備資金	2億円 ※当初借入額の範囲内	通常：年1.66%
旧制度融資等借換特別資金			特別：年1.43%
中小企業小口融資	運転：5年(うち6月)以内	1,250万円	通常：年1.66%
小規模事業者融資	設備：7年(うち1年)以内	1,500万円 ※小口融資と合計	特別：年1.43%

2 融資枠

5億円（※既存制度融資の融資枠の残額により対応）

3 実施時期

平成23年10月上旬から平成23年12月31日申込みまで

第16回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの結果について

平成 23 年 9 月 16 日
交 流 推 進 課
経 済 通 商 総 室
通 商 物 流 室

9 月 5 日（月）に中国吉林省で開催された第 16 回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット及び各地域との会談等の概要は以下のとおりです。なお、平井知事は台風 12 号の対策本部対応で出張日程を変更したため、サミット本会議には文化観光局長が代理出席しました。

1 サミット本会議の概要

(1) 日 時 9 月 5 日（月）午前 8 時 30 分～午前 11 時 55 分

(2) 場 所 南湖賓館（吉林省長春市）

(3) 参加者 鳥 取 県 細羽正（ほそばただし）文化観光局長 ※知事代理として出席
吉 林 省 王儒林（ワン・ルウリン） 省長
沿海地方 ダリキン・セルゲイ知事
中 央 県 ツェデブドルジ・エンフバト知事
江 原 道 崔文洵（チェ・ムンスン）知事 ほか

(4) 結果（共同宣言は別紙のとおり）

- 各地域の代表は、これまでの各地方政府間の相互協力及び友好関係を評価した上で、各地域が協調し、北東アジア地域の交通網構築、エネルギー開発利用等を推進していくことで一致。
- また、2012 年に本県で開催される「国際マンガサミット」等、各地域で開催される国際行事を相互に支持し、各行事の実効を上げていくことを確認した。
- 本県は、東日本大震災に対する各国、各地域からの支援に対して御礼と深い感謝の意を表明し、鳥取県の被災地支援の取組を紹介した。また、震災後、世界に広まった風評により訪日観光客が激減したことに関連し、地域間の情報共有と経済・観光交流の強化を呼びかけた。
- また、日本の「北東アジアゲートウェイ」として交通基盤整備を進める本県の取組を紹介し、特に、環日本海定期貨客船を利用した青少年交流事業やトライアル輸送事業への各地域の協力を求め、航路を活用した人的・物的交流の拡大を図った。
- 次回地方政府サミットの開催地域が鳥取県に決定した。

2 各会談等の概要 ※すべて平井知事が対応

(1) 二地域間会談

- 平井知事は各首長に対し、環日本海定期貨客船航路の利用促進に向けた協力を要請し、各首長の賛同を得た。また、北東アジア地域が世界に向けて魅力的な観光地となるよう観光分野の交流を進めることを確認するとともに、東日本大震災の風評被害を伝え、本県観光の安全性を訴えた。
- 特に、崔文洵（チェ・ムンスン）知事との初対面の機会となった江原道との二地域間会談では、平井知事が崔知事の当選と 2018 年冬季オリンピックの平昌開催決定に対する祝意を伝え、8 月に江原道を襲った集中豪雨への見舞金を贈呈した。崔知事は「鳥取県と江原道の地域間交流は他地域の模範と聞いている。先達が相互に尊重しあい築いてきた交流を大切にしたい。」と交流の推進に意欲を示し、近いうちに鳥取を訪れることを約束した。

(2) その他の会談

- 孫政才（スン・ジョンツァイ）中国共産党吉林省委員会書記と会談し、環日本海定期貨客船航路を活用した両地域間の経済交流を促進することで一致した。
- 王勝今（ワン・シヨンジン）吉林大学副校長と会談した際、王副校長から「鳥取環境大学と吉林大学との学術交流協定締結を検討したい」との意向が伝えられた。
- 李龍熙（リー・ロンシー）延辺朝鮮族自治州長と会談した際、李州長から「鳥取市との友好交流を進めたいので、鳥取市長に当方の意向を伝えていただきたい」との依頼を受けた。

3 知事日程

月 日	日 程
9月5日(月)	9:40～10:55 仁川空港→長春空港 12:00～12:20 中国共産党吉林省委員会書記との会談【南湖賓館】 12:30～13:20 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットレセプション【南湖賓館】 13:20～13:40 沿海地方知事との会談【南湖賓館】 14:00～15:00 美術作品展示会開幕式【長春北東アジア芸術センター】 16:30～17:00 江原道知事との会談【南湖賓館】 17:00～17:30 中央県知事との会談【南湖賓館】 18:00～19:20 北東アジア投資貿易博覧会歓迎レセプション【南湖賓館】 22:30～23:00 吉林省長との会談【南湖賓館】
9月6日(火)	9:00～10:00 北東アジア投資貿易博覧会開幕式【長春国際会議展示センター】 10:00～11:00 北東アジア投資貿易博覧会視察【長春国際会議展示センター】 12:00～13:30 吉林大学副学長との昼食会【長白山賓館】 14:00～14:30 延辺朝鮮族自治州長との会談【拉図摩根商旅酒店】 15:30～16:00 吉林省旅遊局長との会談【中日友好会館】 18:00～19:30 瀋陽総領事及び鳥取県出展企業との夕食会【圓餃園】
9月7日(水)	8:50～11:40 長春空港→仁川空港 ※知事は引き続きウラジオストクへ出張し、9月9日に帰国

第 16 回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット共同宣言文

2011年9月5日、中国吉林省において開催された「第16回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」において、中華人民共和国吉林省長 王儒林、日本国鳥取県知事 平井伸治、ロシア連邦沿海地方知事 ダリキン・セルゲイ、モンゴル中央県知事 ツェデブドルジ・エンフバト、大韓民国江原道知事 崔文洵は、これまでの各地方政府間の相互協力及び友好関係に基づき、地域の共同繁栄のため幅広い意見を交換し、次の事項に合意した。

1. 各地方政府は協力して北東アジア地域の輸送ルート建設を促進する。現在の輸送ルートが抱える人と物の流れの不足、繁雑な手続、円滑に進まない通関等の問題を協力して解決し、短期間内に輸送ネットワークを形成する。また、吉林省琿春～沿海地方ザルビノ～江原道東草航路、鳥取県境港～江原道東海～沿海地方ウラジオストク航路等の既存国際航路の安定運航に向け、各地域は航路を利用した交流協力事業を積極的に企画し、協力して実施する。
2. 相互補完と相互利益、地域全体の利益優先の原則のもと、各地方政府は北東アジア地域の資源、エネルギーの協力関係を強化し、合理的かつ有効に資源及びエネルギーを開発利用し、地域経済の発展を図ると同時に環境保護に努める。
3. 地域間協力のプラットフォームを構築し、北東アジア地域の共同発展を促進する。各地方政府は吉林省における北東アジア投資貿易博覧会、江原道における GTI 会議、中央県における投資貿易商談会、沿海地方における太平洋経済会議、鳥取県における国際マンガサミット及び山陰海岸世界ジオパーク活動等の国際的な活動を積極的に支持し協調する。資源統合、情報共有、相互協力により、各活動の実効性を最大限に発揮させ、地域間交流協力のプラットフォームを共同で構築する。
4. 各地方政府は北東アジア地域の開発協力促進のため、GTI が推進する地方政府協力委員会創設に積極的に参画する。
5. 各地方政府は管内市町村、企業、民間組織とともに、経済、環境、観光、ハイテク分野等の交流拡大を積極的に支持推進する。
6. 各地方政府は協議と相互理解を強化し、地域内の物流・観光産業の発展を促進する。東日本大震災後に経済・観光面で風評被害が広がったが、災害や風評被害を克服し、各地方政府は情報共有と経済・観光交流を強化する。
7. 第 17 回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットは、日本国鳥取県で開催する。

この宣言文は、中国語、日本語、ロシア語、モンゴル語、韓国語でそれぞれ作成する。各言語版は同一の効力を持ち、各地方政府が各 1 部を保管する。

中華人民共和国吉林省長	王 儒林
日本国鳥取県知事代理 文化観光局長	細羽 正
ロシア連邦沿海地方知事	ダリキン・セルゲイ
モンゴル中央県知事	ツェデブドルジ・エンフバト
大韓民国江原道知事	崔 文洵

第7回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会及び第16回 北東アジア地方政府サミット関連経済協議会について

平成23年9月16日
経済通商総室
通商物流室

このたび、中国吉林省長春市において、「第7回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会」が開催され、県内からは中国との貿易を目指す5社が出展し、現地企業との商談等を行いました。

また、「第16回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」の開催に併せ、経済協議会が開催され、各地域の投資環境の説明などが行われました。

1 中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会

(1) 概要

期 間 9月6日(火)から11日(日)まで
場 所 中国・吉林長春国際会議展示センター(吉林省長春市)
主 催 中華人民共和国商務部、国家発展と改革委員会
吉林省人民政府
出展ブース数 2,200ブース
来場者数 約30万人



＜博覧会での商談の様子＞

(2) 参加企業及び出展品概要

業 種	企業名	所在地	展示品
自動車部品	㈱内田スプリング	伯耆町	自動車用スプリング
電気機器製造業	エレコン(有)	八頭町	欠品防止組立台
商社	(有)KSトレード	境港市	ドリル研磨機、化粧品
電気機器製造業	鳥取電子㈱	鳥取市	LED照明付きパーティション
食品加工	(有)梅崎水産	境港市	カニ加工食品

●その他鳥取県関係展示

- ・環日本海定期貨客船航路(DBS)PR及び鳥取県における総合特区構想に関する紹介等

(3) 出展結果等

- ・県内出展企業は、会場内での自社商品のPRを行なうとともに、現地の企業や工場等を訪問し、市場調査や具体的な商談を行った。
- ・商談件数 60件(うち成約見込み 1件、引き続き成約に向けた商談を継続するもの 9件)

2 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット関連経済協議会

(1) 日 時 9月5日(月)

(2) 場 所 南湖賓館会議室(中国吉林省長春市)

(3) 参加地域 鳥取県、韓国江原道、モンゴル中央県、中国吉林省

(4) 内 容

- ・商工労働部長が、本県の北東アジアゲートウェイの取組み、境港航路等物流インフラ状況及び投資環境等を説明。各参加地域からも、投資環境や投資関連施策を中心に発表が行なわれ、各地域の現状について相互認識を深めた。
- ・また、第16回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの共同宣言文に基づき、官民連携のもと、地域間の経済交流を促進することなどについて認識を共有した。

「ロシアの柱（ロシア企業家組織連盟）」境港支部事務所の撤去について

平成23年9月16日
経済通商総室
通商物流室

平成22年9月1日、オートビジネスクラブジャパン社（代表ザハロフ・アンドレイ氏）の境港進出にともない、「ロシアの柱」境港支部が開設されたが、このたび、平成23年9月末をもって事務所を撤去することになった。

今後の「ロシアの柱」の活動については、ザハロフ代表や「ロシアの柱」沿海地方支部から情報収集していきたい。

「ロシアの柱」境港支部について

(1) 設 立 平成22年9月1日

(2) 場 所 みなとさかい交流館1階（境港市大正町215）

(3) 主な活動実績

- ・アジア太平洋地域国際ビジネスフォーラム（平成22年9月24日 東京で開催）で、環日本海定期貨客船航路を活用した境港の利用についてモスクワ、ウラジオストクの「ロシアの柱」の会員に対して紹介した。
- ・「ロシアの柱」ボリゾフ会長など、ロシア要人との人脈形成やウラジオストクのバイヤーを招致して、県内企業とのマッチングを行った。
- ・中海市長会の各市を訪問し、ロシアでの販売可能性調査を実施。
- ・その他、林兼太郎商店、旺方トレーディング、皆生ホテル、鳥取県中古自動車販売商工組合（JU鳥取）などと業務提携。

【※ロシアの柱（ロシア企業家組織連盟とは）】

- ・ロシアにおける企業活動の発展、権利保護の促進等を目的に2002年に設立。企業活動に係る法律の改正に関する情報提供からビジネスマッチングまで幅広い企業支援を行っている。
- ・「ロシアの柱」境港支部は、日本企業に対するロシア向け物流相談、ビジネスマッチング支援などを展開。民間企業（日本法人）であるオートビジネスジャパン社の事業活動拠点も兼ねる。

境港への国際定期コンテナ船(RORO併用)の就航について

平成23年9月16日
空港港湾課
通商物流室
境港管理組合

このたび、境港と釜山を結ぶ国際定期コンテナ船(RORO併用※)航路が開設されることとなりました。

これにより、境港における国際定期航路は週7便となることから、境港の利便性が向上するとともに、対岸諸国との更なる物流の拡大が期待されます。

(韓国航路 週4便、中国航路 週2便、韓国・ロシア航路 週1便)

1 運航船社等

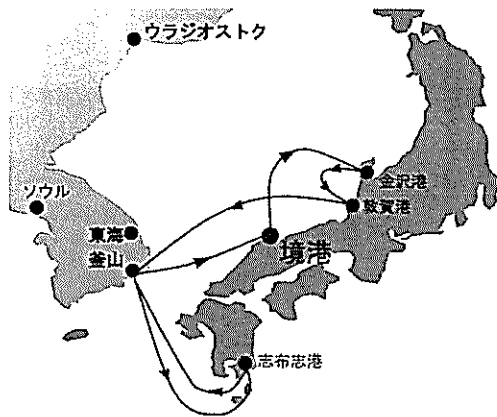
- 運航船社: 長錦商船(株)^{ちょうきん} [韓国船籍]
- 日本総代理店: (株)シノコー成本
- 境港代理店: 境港海陸運送(株)

2 就航船舶

- 船名: Sinokor Ulsan [シノコーウルサン]
- 総トン数: 5,356トン
- 積載能力: コンテナ 255 TEU (20フィートコンテナ1個が1 TEU)
ROROスペース 乗用車換算 60台相当
- 船長: 119.6m
- 船幅: 18.4m
- 喫水: 6.4m

3 定期航路 (以下の港を一週間で回る)

釜山港 → 境港 → 金沢港 → 敦賀港 → 釜山港 → 志布志港 → 釜山港



【現時点の初回寄港日 (予定)】

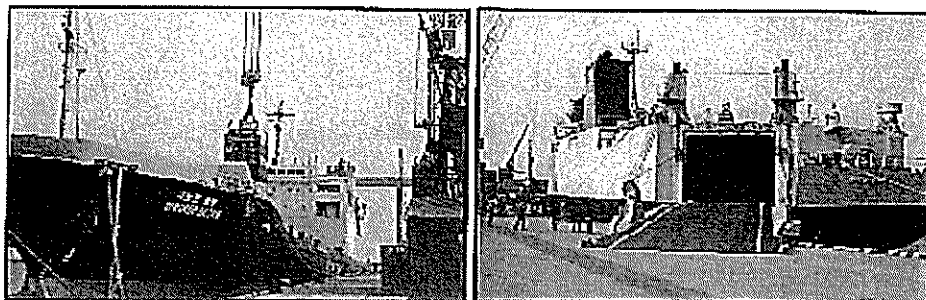
釜山出港 9月20日(火)

境港入港 9月21日(水)

(※)RORO 併用

船の前部にはコンテナを積載するためのデッキを持つほか、後部には船腹の貨物スペースに貨物を収納するためのランプウェイを備えた RORO 機能を持つ、コンテナ・RORO 併用船舶。

【参考/ RORO併用のコンテナ船 イメージ】



知事とソニーモバイルディスプレイ株式会社社長との面談について

平成23年9月16日
産業振興総室
企業立地推進室

ソニー(株)・(株)東芝・(株)日立製作所の「中小型ディスプレイ事業統合に関する基本合意書の締結について」が発表されたことに伴い、平井知事はソニーモバイルディスプレイ株式会社社長と面談し、下記のとおり要請を行いました。

記

1 日 時 平成23年9月2日(金) 午後2時～2時15分

2 場 所 県庁 知事第4応接室

3 面 談 者 ソニーモバイルディスプレイ株式会社
代表取締役社長 有賀 修二(あるが しゅうじ)

4 要請内容

- ・鳥取を世界戦略の一翼を担う拠点として位置づけていただき、鳥取での事業の継続や雇用の維持、更なる事業拡大をお願いしたい。
- ・事業拡大に向けた支援(リスク分散投資に対する助成、人材育成等)を行いたい。既存の枠にとらわれない思い切った支援を考えても良いと考えている。

5 有賀社長の主な発言

- ・今回の再編は世界の中で勝ち残っていくためのもの。中小型液晶の市場が拡大している中で、3社の強みを活かすとともに、規模のメリットを活かしていきたい。
- ・今回の再編はポジティブにとらえてもらいたい。再編の内容についてはこれから決めていくことだが、鳥取には影響がないと考えている。
- ・新会社の経営者については、これから産業革新機構で決める。知事からも産業革新機構にアピールしてもらいたい。

6 今後の対応

- ・事業統合に係る協議状況について情報収集に努める。
- ・国と産業革新機構に対し、ソニーモバイルディスプレイ鳥取事業所の事業継続及び雇用の維持について、機会を捉えて働きかける。

《参考：基本合意の内容》

- ・(株)産業革新機構を中心としてソニー(株)、(株)東芝、(株)日立製作所の中小型ディスプレイ事業を統合し、新会社「ジャパンディスプレイ」を設立する。
- ・2011年秋を目途に正式契約を締結し、2012年春に事業統合の完了を目指す。
- ・産業革新機構が2,000億円を出資し、最終的に産業革新機構が70%、ソニー、東芝、日立が各10%保有。
- ・新会社の代表は、外部経営者を招聘予定。産業革新機構、ソニー、東芝、日立は社外取締役を派遣。

株式会社サンエスの江府町進出に伴う協定書の調印について

平成23年9月16日
産業振興総室
企業立地推進室

株式会社サンエス（本社：広島県福山市）が、江府町にミネラルウォーターの製造を行うための工場を新設することとなり、これを支援する鳥取県及び江府町の間で下記のとおり協定書の調印を行いました。

記

1 株式会社サンエスの概要

- (1) 所在地 広島県福山市神辺町川南741-1
- (2) 代表者 代表取締役社長 佐藤 卓己 (さとう たくみ)
- (3) 設立 昭和24年
- (4) 資本金 9,700万円
- (5) 従業員 900名
- (6) 事業内容 ユニフォームの企画・製造・販売、事務機器・設備・制御機器の設計・ソフト開発、各半導体製品・ソーラーモジュールの製造、ミネラルウォーターの販売

2 立地計画の概要

江府町に新たな工場を建設し、ミネラルウォーターの製造を行う。

- | | |
|--------|------------------------------------|
| ① 工場名 | サンエス奥大山水工場 |
| ② 所在地 | 江府町大字御机地内（江府町地域振興株式会社隣接） |
| ③ 面積 | 7,445㎡（建物624㎡） |
| ④ 事業内容 | ミネラルウォーターの製造（バックインボックス、3ガロンボトル） |
| ⑤ 投資額 | 2億5千万円 |
| ⑥ 従業員数 | 10名（3年後） |
| ⑦ 売上高 | 初年度 1億円 |
| ⑧ 操業開始 | 平成24年6月 |
| ⑨ 立地理由 | 江府町地域振興(株)への生産委託に加え、増加する水需要に対応するため |

3 調印式

- (1) 日時 9月1日（木）
午後3時～3時40分
- (2) 場所 知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者 株式会社サンエス
代表取締役会長 佐藤 卓己
鳥取県 知事 平井 伸治
江府町 町長 竹内 敏朗



株式会社円山菓寮の鳥取市進出に伴う協定書の調印について

平成23年9月16日
産業振興総室
企業立地推進室

株式会社円山菓寮（本社：兵庫県美方郡香美町）が、鳥取市に菓子等の製造を行うための工場を新設することとなり、これを支援する鳥取県及び鳥取市の間で下記のとおり協定書の調印を行いました。

記

1 株式会社円山菓寮の概要

- (1) 所在地 兵庫県美方郡香美町香住区森862
- (2) 代表者 代表取締役 山本 達也 (やまもと たつや)
- (3) 設立 平成13年
- (4) 資本金 1,000万円
- (5) 従業員 45名
- (6) 事業内容 菓子の製造及び販売

2 立地計画の概要

鳥取市に新たな工場を設け、菓子等の製造を行う。

- | | |
|--------|---------------------------|
| ① 工場名 | 株式会社円山菓寮鳥取工場 |
| ② 所在地 | 鳥取市若葉台北六丁目工業団地内 |
| ③ 面積 | 5,280㎡ (建物 2,475㎡) |
| ④ 事業内容 | 菓子等の製造 |
| ⑤ 投資額 | 約1億5,400万円 |
| ⑥ 従業員数 | 50名 |
| ⑦ 売上高 | 25億円 |
| ⑧ 操業開始 | 平成24年6月 (予定) |
| ⑨ 立地理由 | 行政の支援 (貸工場の整備等)、交通の利便性 など |

3 調印式

- (1) 日時 9月14日 (水)
午前10時～10時40分
- (2) 場所 鳥取市役所 第1応接室
- (3) 出席者 株式会社円山菓寮
代表取締役 山本 達也
鳥取県 知事 平井 伸治
鳥取市 市長 竹内 功



林純薬工業株式会社の工場増設に伴う協定書の調印について

平成23年9月16日
産業振興総室
企業立地推進室

林純薬工業株式会社（本社：大阪市）が、リスク分散の観点から、大阪市の工場の一部を移転し、鳥取市の工場を増設することとなり、これを支援する鳥取県及び鳥取市の間で下記のとおり協定書の調印を行いました。

記

1 林純薬工業株式会社の概要

- (1) 所在地 大阪市中央区内平野町3-2-12
- (2) 代表者 代表取締役社長 入江 正克 (いりえ まさかつ)
- (3) 設立 昭和7年
- (4) 資本金 1億5,750万円
- (5) 従業員 243名 (うち鳥取工場9名)
- (6) 事業内容 化学工業薬品、電子工業用薬品、一般試薬の製造

2 事業計画の概要

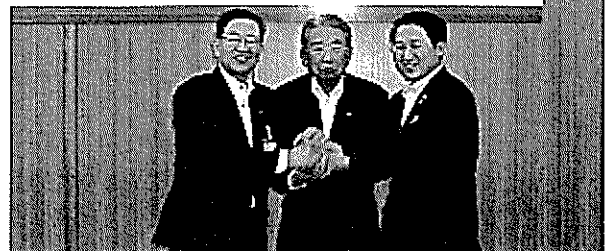
鳥取市に工場を増設し、試薬品の製造を行う。

- | | |
|--------|----------------------------------|
| ① 工場名 | 林純薬工業株式会社鳥取工場 |
| ② 所在地 | 鳥取市気高町下坂本1284-51 |
| ③ 事業内容 | 試薬品の製造 |
| ④ 投資額 | 1億3,500万円 |
| ⑤ 雇用計画 | 5名 |
| ⑥ 売上計画 | 約4億円 |
| ⑦ 操業開始 | 平成23年12月 (予定) |
| ⑧ その他 | 企業立地等事業助成条例のリスク分散加算を適用する予定 (2例目) |

3 調印式

- (1) 日時 9月1日 (木)
午後4時25分～5時5分
- (2) 場所 知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者 林純薬工業株式会社
代表取締役社長 入江 正克
鳥取県 知事 平井 伸治
鳥取市 市長 竹内 功

林純薬工業株式会社の工場増設に係る
協定書調印式



地域活性化総合特区への申請について

平成23年9月16日
産業振興総室
次世代環境産業室

総合特区の指定申請（9月30日締切）に向けて、申請の概要（案）などの進捗状況を報告します。

1 地域活性化総合特別区域の指定申請の概要（案）

- (1) 名称 地球と共に自然エネルギーと生命科学で世代をつなぐ「とっとり発生活起点型新成長特区」
- (2) 区域 西部9市町村（米子・境港市、日吉津村、大山・南部・伯耆・日南・日野・江府町）
- (3) 特区により実現を図る目標
県経済成長戦略の実現を促進するため、県西部圏域の持つ豊かな地域資源等の強みを組み合わせ、総合特区法に基づく規制の特例措置や財政・金融上の支援措置を活用したグリーン&ライフイノベーションを通じた地域の持続可能な成長モデルを構築し、世界へ発信する。
- (4) 目標達成のために実施する主な事業

テーマ	事業の概要	地域	効果
モビリティ	○商店街等の中心市街地でのe(電動)-モビリティによるカーシェアリングの実施及びそれらの導入環境を整備	米子市	○高齢者や観光客の移動の利便性向上、中心市街地の活性化
	○大山麓の地形やガソリン高騰等を考慮して電気自動車を活用し、利用者のニーズに応じて運行するデマンド交通体系を確立	大山町	
コミュニティ	○小水力発電（下蚊屋ダム230kW）等の再生可能エネルギーによる災害等の停電時でも家庭等に電力供給が可能なスマートグリッドの構築と、それを活用した環境教育による地域の魅力づくり	江府町	○電源の分散化とその相互補完による安定供給
	○バイオマス発電等の大規模な再生可能エネルギーを活用した地産地消に向けた計画作り	米子市 日吉津村	
	○住宅・街づくり・移動体を軸に、適度なスマートハウスを核とした「環境」「安全」「快適」「便利」「自立型」な低炭素街区づくり	米子市 伯耆町	○居住区全体のエネルギー自立性の向上
	○CATV網やエリアワンセグを活用し、消費電力の見える化、節電を促す情報発信や、家庭でのエネルギー利用を最適化する仕組みを構築	米子市	○地域情報と連携した効率的な電力消費の促進
サイエンス	○アミノ酸解析技術によるがんリスクスクリーニングを健康診断に導入し、医療関連サービスを充実。健診データの地域共有システム構築し、健康チェックや栄養指導等での新たな健康サポートサービスを創出	南部町 (日野町、日南町)	○地域の健康増進と医療関連サービスの発展

(5) 関連規制 道路運送車両法、電気事業法、土地改良法、電波法、高齢者医療確保法など

(6) 今後のスケジュール

- ・9月30日 申請書提出締切り
- ・10～11月中旬 書面審査、ヒアリング対象の決定
- ・11月下旬～12月上旬 ヒアリング
- ・12月上旬～年内 区域指定
- ・指定後 特例措置等に関する国との協議、計画策定・認定、事業実施

2 第2回鳥取県地域活性化総合特区推進協議会の開催

- (1) 日時 平成23年8月22日（月）午後3時～4時30分
- (2) 場所 米子コンベンションセンター国際会議室
- (3) 構成 県内外企業、金融機関、西部市町村など30団体（会長は平井知事）
- (4) 主な意見（※意見は検討の上、指定申請に反映）
 - e-モビリティやITSを活用し、住民が暮らしやすいまちづくりに取り組みたい（ナノオプト）
 - 西伯病院や鳥大等と連携して健診データを蓄積・活用し、住民の健康向上を図りたい（味の素）
 - 総合特区の特例措置を活用し農業用ダムを活用した水力発電に取り組みたい（江府町）
 - 豊富な森林バイオマスの活用や、境港から外に向けた発信も構想に含めてはどうか（南部町）

地方独立行政法人鳥取県産業技術センター機械素材研究所
(米子市日下)における敷地内法面崩落について

平成23年9月16日
産業振興総室
産学金官連携室

9月2日(金)から3日(土)にかけて上陸した台風12号の影響で、鳥取県産業技術センター機械素材研究所敷地内の法面が崩落しましたので、その概要を報告します。

1 法面崩落の概要

- ・9月2日(金)から3日(土)にかけて上陸した台風12号の影響で、鳥取県産業技術センター機械素材研究所で敷地内南側法面が2箇所崩落
- ・流出土砂が、法面下の土地改良区管理の農道及び日下自治会管理の土地に堆積したことから堆積している流出土砂を撤去し、法面に崩落防止用シートを張る応急処置を施すよう専門業者に手配したところ。

2 法面崩落時の対応状況(センター対応)

(1) 9/4(日)

- ・研究所敷地内南側法面が崩落しており、法面下の農道等に土砂が堆積していることを研究所所長が確認。
- ・同日、農道は土地改良区の管理であることが判明。早急に土砂の撤去を実施する旨地元関係者へ説明。

(2) 9/5(月)

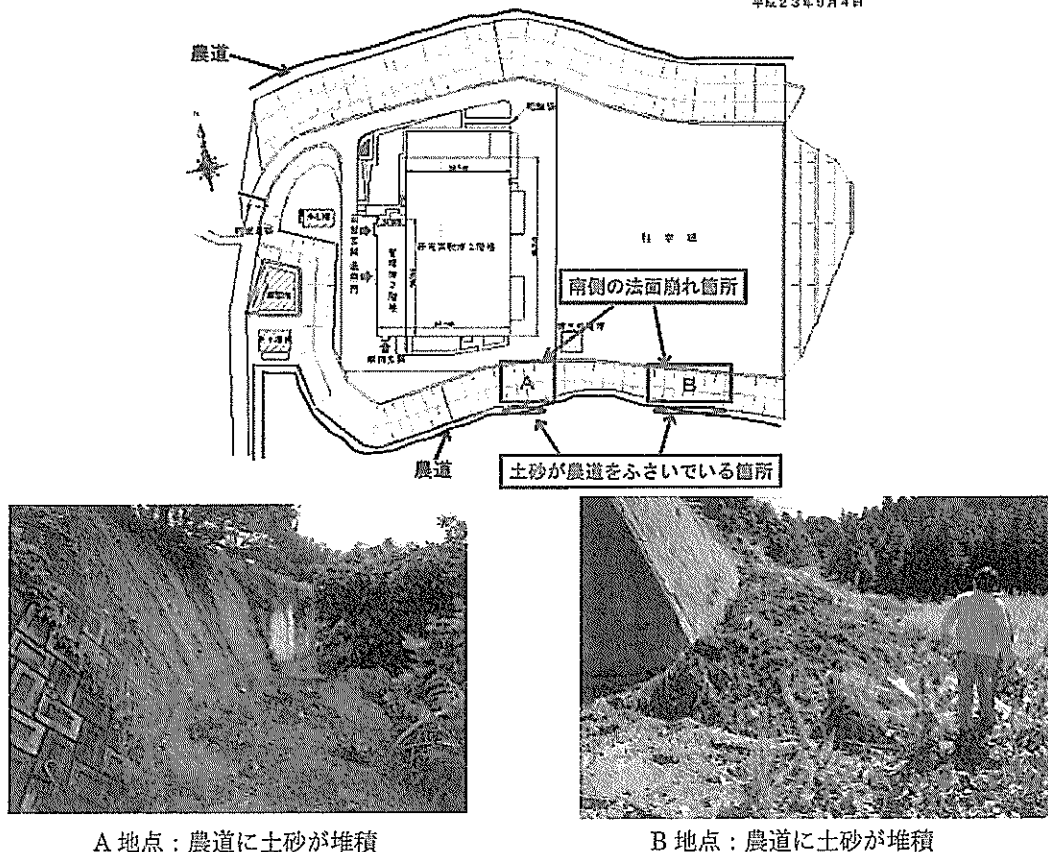
- ・センターが専門業者に応急処置を依頼(農道等の土砂撤去及び法面への崩落防止用シート張り)。
→9月15日(木)に完了予定。

3 今後の対応

- (1) 法面の本格的な復旧工事のため、センターで測量・実施設計の専門業者への発注手続きを準備中。年内には測量・実施設計業務を完了予定。
- (2) 設計業務終了後、復旧工事を発注予定。(年度内発注予定)
- (3) 当面は産技センターの予算で対応し、必要に応じて県の産技センター運営費補助金の措置を検討。(11月補正)

機械素材研究所 法面崩れ箇所

平成23年9月4日



とっとり産業フェスティバル2011 & 鳥取環境ビジネス交流会2011の開催結果について

平成23年9月16日
産業振興総室
産学官連携室・次世代環境産業室

県内の大学等の研究成果や県内外企業の製品・技術を広く紹介し、産学官連携による研究開発及び企業の販路拡大を促進し、県内産業の活性化を図ること目的に、とっとり産業フェスティバル 2011 & 鳥取環境ビジネス交流会 2011 を開催しました。

- 1 日時：平成23年8月26日（金）午前10時～午後5時、27日（土）午前10時～午後4時
- 2 場所：鳥取産業体育館（鳥取市天神町50-2）
- 3 主催：とっとり産業フェスティバル実行委員会（とっとり産業フェスティバル2011）

〔鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校、鳥取県商工会議所連合会、(財)鳥取県産業振興機構、(地独)鳥取県産業技術センター、鳥取市、鳥取県ほか〕
鳥取県（鳥取環境ビジネス交流会2011）

- 4 来場者数：1,400名（26日（金）550名、27日（土）850名）

5 プログラム

【8月26日（金）】

<式典の部> 小体育館

- 開演・主催者挨拶 (10:00～10:25)
- 基調講演 (10:30～11:40)

講師：株式会社コーポレーションパールスター 専務取締役 ^{しんたく} ^{みつよし} 新宅 光勇 氏

演題：「産学官+金報連携による自社ブランドの構築」（転倒予防靴下の販売戦略等）

<展示の部> 大体育館ほか

- 研究発表…大学・公設試等の研究成果154点をポスター形式で展示 (10:00～17:00)
- 企業展示…県内外57の企業・団体が参加し、製品や技術を展示 (10:00～17:00)
- 米子高専ロボコン (11:00～16:00)

<研究発表の部> 小体育館

- とっとりネットワークシステム合同発表会 (11:50～12:30)
- 山陰発技術シーズ発表会 in 鳥取—大学・公設試等の研究成果発表 (13:00～16:35)

<交流会の部> パレットとっとり

- 産学官連携交流会 (18:00～19:30)

【8月27日（土）】

<展示の部> 大体育館ほか

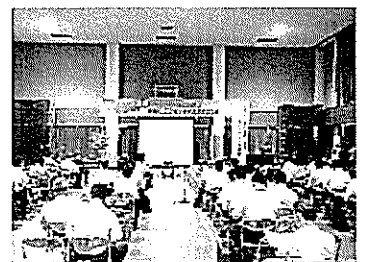
- 研究発表及び企業展示（26日と同内容） (10:00～16:00)

〔同時開催〕 小体育館

- 因幡・夏の手づくりまつり（子供向けの工作教室） (10:00～15:00)

- 6 出展企業からの意見等（※アンケートはとりまとめ中であり9月8日時点での主な意見）

- 新製品を多くの来場者に見てもらえた。
- 製品PRと製品に対するアンケートを実施できた。
- 大学等や他の出展企業との交流が少なかった。
- 一般の方が来るのに、駐車場が少ないように感じた。



[基調講演]



[企業展示]

「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について

平成23年9月16日
東京本部
市場開拓課

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」を拠点とした、首都圏における県産品販路開拓の取組み状況について報告します。

1 情報発信

<テレビ・雑誌等での紹介>

日経MJ (7/30)、J-Bstyle (6・7月号)、カフェ・スイーツ (6月号)、Oz マガジン (6/10号)、Penbooks「今宵も一杯」(6/30号)、JNTO Web マガジン (7月)

<店舗内催事等による>

- ・延べ5事業者が試食販売などを実施(7~8月)。さらに、3事業者がスパイシーカレーとエスニックビーフシチュー、「黒にんにく」を使った健康食品、地ビールの試食(飲)販売を実施予定(9月)
→相対で首都圏の消費者に接し、ニーズ等を把握
- ・倉吉農業高等学校、米子南高等学校、鳥取湖陵高等学校の生徒が、販売実習を実施(7~8月)
- ・八東中学校生徒が、地元の観光や物産のPRを実施(7/9)

<店舗外催事による>

首都圏で開催されたイベントにアンテナショップが出店し、県産品をPR販売

【最近の事例と今後の予定】

名 称	期 間	場 所
山陰山陽観光物産フェア	H23. 7. 21(木)~22(金)	日本橋プラザビル南広場(中央区日本橋)
アンテナショップフェスティバル	H23. 11. 3(木・祝)~6(日)	新潟県アンテナショップ、福井県アンテナショップ(港区南青山)(予定)
商店街と地方都市との交流物産展	H23. 11. 9(水)~10(木)	新橋駅前S L広場

<情報の伝達>

- ・アンテナショップスタッフが、アンテナショップで収集した消費者の反応等を基に、アンテナショップで販売している商品の改良アドバイス等を行う会と商談会を開催(7/31~8/1、県内事業者18社が参加)

<機能の向上>

- ・アンテナショップの運営に対する助言を行うアンテナショップ運営会議を開催(7/11)(主な意見)
 - ・次のステージとして商品の掘り起こしや既存商品からのヒット商品を育てる工夫を
 - ・レストランを魅力ある店にしていく努力、リピーターを増やす取り組みを

<「食のみやこ鳥取プラザ」開店3周年記念フェア>

期間：平成23年8月29日(月)~9月5日(月)の8日間

会場：食のみやこ鳥取プラザ(東京都港区新橋2-19-4)

内容：

① 全体イベント

- ・平井知事、松本若菜氏(とっとりふるさと大使、米子市出身、女優)、後藤幸一氏(映画「恋谷橋」の監督)他による先着50名様二十世紀梨プレゼント[8月29日(月)]
- ・鳥取旅行、県産品等のプレゼントが当たる抽選会[8月29日(月)~9月1日(木)延べ1,919回]

② 物販イベント

- ・ポイントカード提示で店内商品5%割引[8月29日(月)~9月1日(木)]
- ・旬の鳥取県産農産物フェア[9月2日(金)~9月5日(月)]

③ レストランイベント

- ・鳥取の料理人(知久馬惣一鳥取県調理師連合会会長他)による鳥取食材を使った料理の提供[8月29日(月)28名参加]、鳥取食材・観光のPRのための立食パーティー[9月5日(月)60名参加]を開催。いずれも得意客(希望者、有料)、マスコミ、バイヤー等(招待、無料)が参加。

成果：

- ・フェアの様子がマスコミ(新聞3社、ラジオ1社)に取り上げられ、広く情報発信できた。
- ・レストランイベントでは、鳥取の料理人による普段味わえない創作会席料理が参加者から好評を得た他、マスコミ、バイヤー等に鳥取の食材等の魅力を発信することができ、今後より一層の情報受発信、販路開拓に繋がることを期待。

お客様の反応：

- ・知事による梨プレゼントを楽しみにしているお客様が多く、開始前に行列ができ大変好評だった。
- ・フェア初日は開店前から店頭に行列ができるなど、鳥取フェアおよびプレゼント抽選会を楽しみにしておられるお客様が多かった。また、抽選の鳥取旅行を狙って何度もお買い物をされるお客様もあり、売上げ増に繋がった。



梨プレゼントの様子



レストランイベントの様子

※ フェアの告知

チラシ配布等	鳥取県ゆかりの店や県人会会員へのチラシ送付、ショップレジ袋にチラシ封入
新聞広告	新聞5紙（朝日、読売、毎日、産経、東京）（8月23日～24日）、東京新聞夕刊広告（8月11日、25日）、朝日新聞夕刊広告（8月26日）
マスコミ訪問	中央紙、地方紙、スポーツ紙、週刊誌など16社（8月25日～26日）
その他	東京本部メールマガジン、東京本部ホームページ

2 運営状況

＜来客実績＞

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業日数	売上高 (千円)		来店客数	営業日数	売上高 (千円)
			うち催事売上高 (千円)				
H20. 8月	2,117名	3日	2,701	73	149名	2日	900
9月	8,404名	30日	10,176	227	2,321名	24日	6,265
10月	5,204名	31日	6,383	100	1,972名	26日	6,441
11月	4,657名	30日	6,244	145	1,943名	24日	7,504
12月	4,646名	30日	7,191	147	2,061名	25日	8,151
H21. 1月	3,653名	28日	4,844	0	1,713名	22日	7,162
2月	4,431名	28日	6,597	114	1,649名	23日	6,846
3月	4,550名	31日	6,093	0	1,689名	25日	6,823
H20. 8. 29～ H21. 3. 31	37,662名	211日	50,229	806	13,497名	171日	50,092
H21. 4月	4,737名	30日	5,837	62	1,731名	25日	5,925
5月	6,309名	31日	7,590	87	1,822名	23日	6,410
6月	6,159名	30日	7,701	212	2,203名	26日	7,489
7月	6,206名	31日	7,700	181	2,092名	26日	7,345
8月	7,483名	31日	8,198	108	2,268名	27日	7,804
9月	7,002名	30日	8,743	209	1,828名	23日	6,191
10月	6,384名	31日	7,623	224	1,865名	26日	6,716
11月	6,523名	30日	9,241	237	1,578名	23日	5,411
12月	6,438名	30日	8,696	281	1,450名	21日	5,270
H22. 1月	5,361名	28日	6,597	122	1,713名	23日	5,526
2月	5,056名	28日	6,756	177	1,609名	22日	5,568
3月	6,229名	31日	8,222	236	1,813名	26日	6,072
H21. 4～H22. 3	73,887名	361日	92,904	2,136	21,972名	291日	75,727

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業 日数	売上高 (千円)		来店客数	営業 日数	売上高 (千円)
			うち催事売上高 (千円)				
H22. 4月	6,155名	30日	8,357	313	1,671名	25日	5,814
5月	7,136名	31日	8,502	147	1,522名	23日	4,779
6月	6,128名	30日	8,136	308	1,821名	26日	5,697
7月	5,698名	31日	7,025	258	1,713名	26日	5,761
8月	6,095名	31日	7,240	239	1,842名	26日	5,753
9月	5,691名	30日	7,531	337	1,490名	25日	4,878
10月	5,846名	31日	7,795	164	1,520名	26日	4,617
11月	6,034名	30日	8,493	300	1,446名	24日	4,481
12月	5,967名	31日	9,060	261	1,736名	27日	6,210
H23. 1月	4,660名	28日	6,616	199	1,050名	18日	3,268
2月	4,759名	28日	6,227	128	1,457名	23日	5,329
3月	4,837名	31日	6,182	110	1,277名	24日	3,696
H22. 4~H23. 3	69,006名	362日	(98.1%) 91,164	2,764	18,545名	293日	(79.6%) 60,283
H23. 4月	6,211名	30日	8,199	68	1,673名	25日	5,272
5月	5,971名	31日	8,126	165	1,431名	23日	4,704
6月	6,616名	30日	8,743	222	1,773名	26日	5,315
7月	6,560名	31日	9,052	147	1,628名	26日	5,262
8月	6,959名	31日	9,582	96	1,870名	27日	6,267
H23. 4~H23. 8	32,317名	153日	(111.3%) 43,702	698	8,375名	127日	(96.5%) 26,820
合 計	212,872名	1,087日	277,999	6,404	62,389名	882日	212,922

※上段の () 書きは、対前年比

<最近の人気商品>

順位	品 名	販売価格	順位	品 名	販売価格
1位	大山ソフトクリーム	(1個)380円	4位	とうふちくわ・生	(1本入)250円
2位	ブドーパン	(1個入)150円	5位	あごちくわ・生	(1本入)310円
3位	白バラ牛乳 1,000ml	(1本入)365円			